

# 市長のあいさつ

市長 松本茂幸



神崎市議会定例会の開会に当たり、自らの所信の一端を述べさせていただきます。

市長就任から約2ヶ月、2町1村の合併という歴史的な事業を改めて思い起こし、新生神崎市の誕生に至るまで、多大なご尽力をいただきました内川修治前千代田町長、山口三喜男前脊振村長に、心から感謝を申し上げる次第であります。

初代神崎市長としての私の使命は、「新市建設計画」を尊重しながら、新生神崎市の歩むべき道筋を明らかにし、市民の皆様とともに、新しいまちづくりを軌道に乗せていくことと確信しております。

この使命を果たしていくためには、私の基本理念であります公平公正な市政の実現を目指しながら、諸課題に取り組んでいかなければならないものと考えており、市政運営に当たりましては、市民の生命財産を守ることが第一義とし、市民の皆様との対話をもとに、常に市民の皆様と一緒に歩き、市民の感覚で考え行動してまいります。

合併により2町1村は、長い歴史を閉じて新しい歴史を刻み始めた訳ですが、長い歴史の営みの中でご苦労をされた多くの先人の思いを受け止め、歴史、文化などの資産をしっかりと受け継ぎ、歴史に恥じない、それぞれの地域の特性をさらに活かした、新生神崎市の地域文化創造に邁進する決意でございます。

また、市民の代表である議会と執行部は、市政の両輪でございます。極めて厳しい行財政環境の中ではありますが、私が掲げております「6×4のお約束」をもとに、「元氣・神崎市」実現のためのまちづくりに向けて、真摯な態度で論議をさせていただきますと考えております。

議員の皆様及び市民の皆様の、より一層の御支援とご協力を、ここにお願ひ申し上げます。